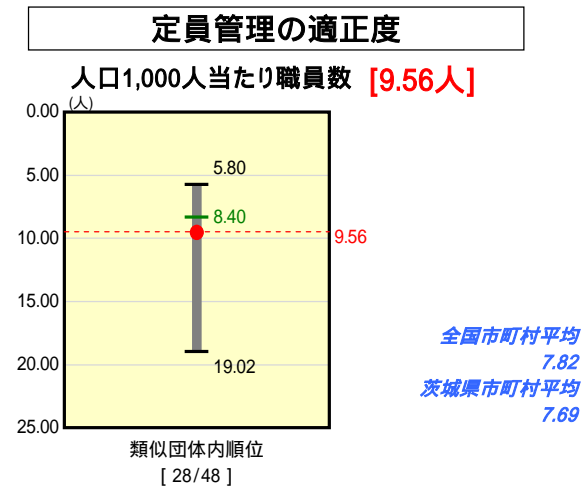
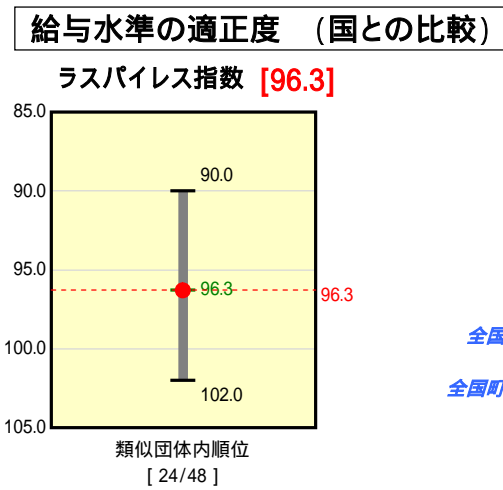
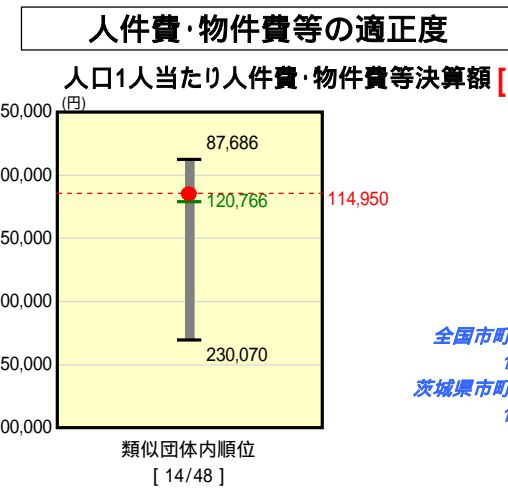
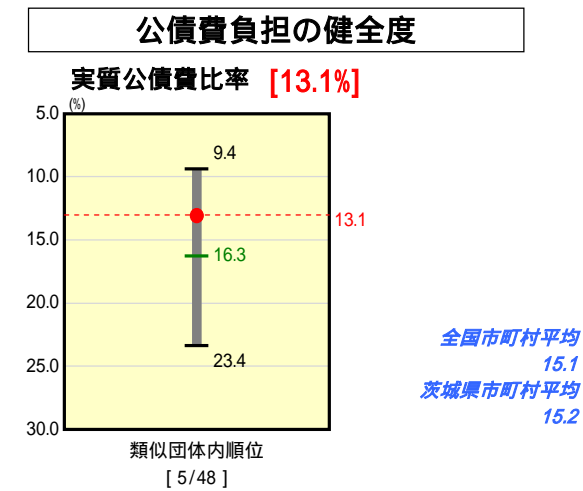
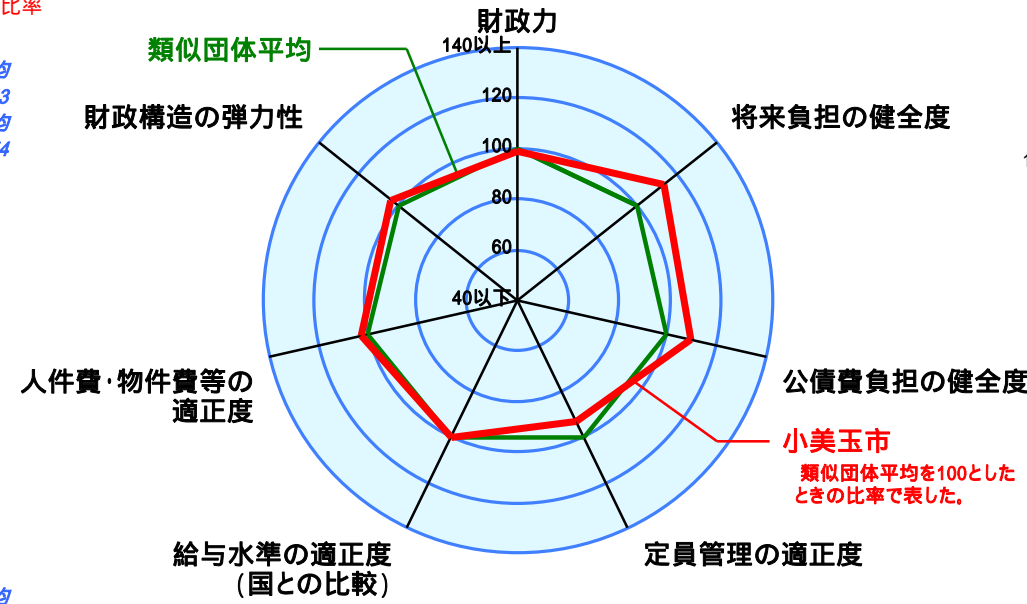
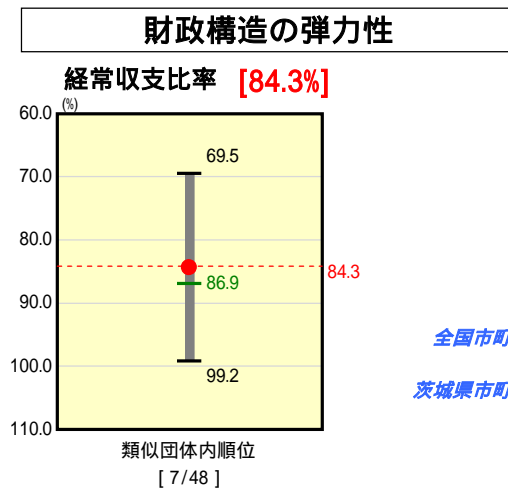
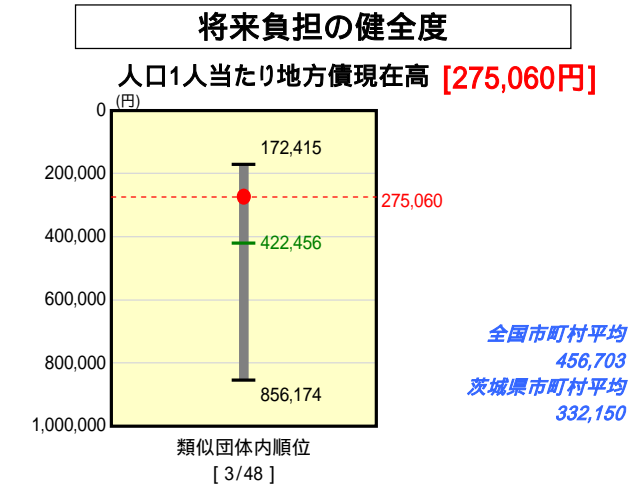
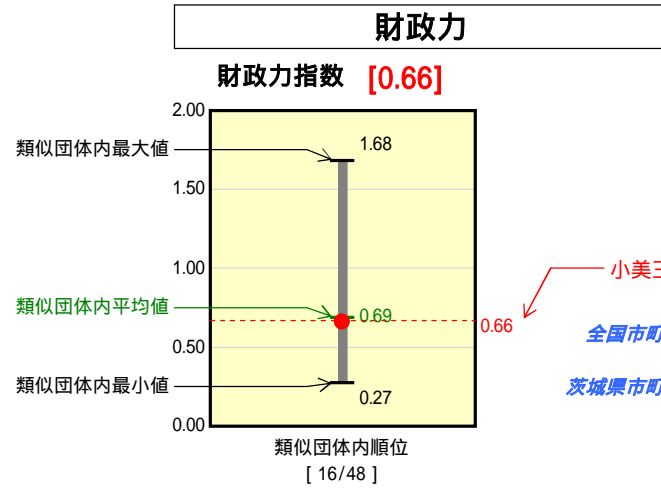


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

茨城県 小美玉市

人口	53,466 人	(H19.3.31現在)
面積	140.21 km ²	
歳入総額	17,171,174 千円	
歳出総額	16,308,057 千円	
実質収支	777,402 千円	



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】

ここ6年間で連続した伸びを示し0.66となっているが、類似団体平均を下回っているため、退職者不補充等による職員数の削減(3年間で6%減)、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、収納特別対策室による収収の徴収率向上対策(2年間で2%の向上)を中心とする歳入確保に努める。

【経常収支比率】

退職者不補充等により職員数の削減を図っていることにより類似団体平均を下回っているが、生活保護・児童扶養手当受給世帯の増加等に伴う福祉関係経費の増加により、比率は悪化することが懸念される(扶助費は対前年度比1.3%ポイント上昇)。また、人件費に係るものが35%前後と比較的高い水準にあるため、定員適正化計画に基づき職員数の削減など行財政改革の取組を通じて義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持する。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】

類似団体と比較してやや下回っている。行財政改革の取組を通じて、前年度と比較して人件費は、5.5%(256百万円)減、物件費は13.2%(300百万円)減となり改善されている。今後は、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、一層のコスト削減に努める。

【ラスパイレース指数】

給与体系の見直しに基づき、全国市平均を下回るが、類似団体平均値となっている。今後も、地域の民間企業の平均給与の状況を踏まえ、引き続き適正化に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】

過去の投資的経費を抑制した結果、類似団体平均を初め全国市町村平均および茨城県市町村平均を大きく下回っているが、今後、予定されている合併特別債の発行により、類似団体平均を上回ることがないよう、大規模事業の整理を図りながら、地方債全体の抑制に努める。

【実質公債費比率】

過去からの起債抑制策により類似団体平均を初め各種指数は、下回っている。また、平成22年度に四季健康館整備事業(総事業費26.1億円、うち地方債23.1億円)に係る地方債の償還が完了するが、今後とも、住民ニーズ等を的確に把握した事業の取捨選択により、引き続き抑制する。

【人口1000人当たり職員数】

依然として類似団体平均を上回っているが、主な理由としては、町村合併(平成18年3月27日)時に一部事務組合の職員をそのまま引き継いだことに起因する。今後は、定員適正化計画に基づき退職予定者の状況を勘案しつつ、計画的な職員採用を行い、平成17年4月1日から平成22年4月1日までの5年間に15.4%(103人)減の目標値を掲げ職員数削減に努める。